

【平成28年度】

＜しまなみ海道サイクリング＞

実施日：平成28年4月21日(木)～23日(土) [2泊3日]

集合場所・時間：JR尾道駅前 13時

宿泊：1日目 大三島・民宿「なぎさ」

：2日目 ダイワロイネットホテル松山

【実施行程】

＜1日目＞尾道駅(JR線)～忠海駅(フェリー)～大三島・盛港(自走)⇒民宿「なぎさ」 (5Km)

＜2日目＞民宿「なぎさ」⇒大三島橋⇒伯方島⇒道の駅「伯方S・パーク」⇒伯方・大島大橋⇒大島  
⇒道の駅「ようみいきいき館」⇒来島海峡大橋⇒JR今治駅⇒今治城  
⇒今治駅(JR予讃線)～松山駅(自走)⇒ロイネットホテル松山 (37Km)

＜3日目＞ロイネットホテル松山・ロビー解散

今回の計画は昨年早々に決定、詳細計画書が2月29日にホームページにUP、各自準備万端で迎えるはずでありました。ところが、4月14日21時26分に熊本・大分県を襲った地震で一変、直ぐには収束しそうな状況など、四国松山方面への計画に不安の声もあり実施どうするか苦慮する事になったのであります。

すでにサイクリングの前後の計画など各自の予定が組まれており、大丈夫実施すべしが大勢を占め、決行することになりました。

全員参加の予定で在りましたが、残念ながら体調の整わない福島さん、直近に負傷した飛驒野さん、ご自身の震災体験から参加を見送られた山田さんの3名が欠席となりました。

しかし、参加者10名は過去最大人数であります。サイクリスト人気No. 1のしまなみ海道である事、事前の準備も充分整えていた事も良かったのでしょう。

さあ、出発だ～！

それぞれ、思い思いのルートでJR尾道駅へ。ある人は、前日から乗り込んでいたり、寝台特急で朝には着いていたり、お遍路後にこられた人も。

まじめ？に計画書に示したルートで来た人は松本さんと田淵さんと私の3人だけでした。自転車の置きやすい新幹線車両の後部座席を指定、迷惑を最小限に抑えていました。(お勉強通り・まじめ)



後部座席に置かれた自転車

13時全員集合。天気は'う～む残念！。どしゃ降りの雨。予想はしていたものの出鼻をくじかれた感じがあります。しかし、森部会長とプランリーダー高橋の連携で周到に用意された雨天メニューを発表。{①バスルート②船・生口島・多々羅大橋ルート③忠海・大三島フェリールート}検討の結果③のルートを選択。

尾道から鉄道で忠海へ、車内は空いていたので、我が物顔に自転車を載せて、車内で雨具の用意ができました。



尾道から忠海へ 我が物顔で自転車を・・・空いているからまあいいか！？

駅に着いたら即自転車の組み立てであります。慣れていない人、いない人、助け合いながら準備します。今日初めてのマイ自転車への乗車であります。港は直ぐ近くで、フェリー乗り場へ間も無く到着。

チケット購入時にアンケートに答えて割り引きになるとか、どこから来たか、何回目か等、色んな会話も楽しみながらフェリーの時間待ち。鉄道ではないので自転車に乗ったままで乗船、これか楽チン。

フェリー出航、船内もお客様が少なく、ゆったりとくつろぎながら大三島盛港へ向かったのであります。途中寄港の大久野島は明治・昭和の戦争遺跡が点在し、昭和初期、毒ガス工場が在ったとか。現在はウサギの島として人気だそうだ。



左から手塚夫人 田淵さん 森さん、元安さん、松本さん、大澤さん、私(高橋) 四方さん 木村さん、手塚さん  
船内で、ゆったりとくつろぐ皆さん

船内では、雨天のサイクリング、フェリーの利用、今日の天気は我々にいろんな経験をさせてくれた・・と前向きに捉える声がある一方、「自転車こがなくて 楽ち～ん」の怠け者の声もあったりして？！

船窓から見る景色は、雨の為に曇っているが、島々が重なり合うさまはすばらしい。明日が楽しみだ。

25分の船旅後半、小さな島が見える。「ひょうたん島」だ、昔NHKテレビで放送していた「ひょっこりひょうたん島」のモデルとか。(若い人は知らないかもしれないが、我々は皆知っている。)

そして、大三島・盛港に到着。雨の振る中、宿泊先の「民宿なぎさ」に向かってGo～！

地図はあるものの、道がわかり難い、どんどん自転車を走らせていると、後方から「おーい」停車していると、車が…。フェリーに乗る前に民宿に連絡をいれてあったので、おかみさんが迎えに来てくれました。

助かる～！。車の先導で民宿に無事到着。さすが、サイクリストが泊まる為の自転車置き場が屋根つきで設置されていました。

民宿に入って、まず雨具の整理、カッパやシューズカバー、ぬれた靴、ヘルメットなど等、拭いたり、叩いたり、新聞紙をつめたり、干したり。やっと整理がついて各部屋へ、部屋割りは4人部屋2室、手塚夫妻1室で在ります。

一息ついて、おかみさんの運転で、しまなみ海道唯一の天然温泉「多々羅温泉」へ、一日の疲れを癒したのであります。



雨に祟られた一日でありましたが、  
美味しい料理に美味しいお酒、かんぱ～い！！

夕食は、新鮮な刺身、てんぷら、煮魚、など、味も量も大満足であります。アルコールも入り、話は今日の天気、雨で走れなくて残念、プランリーダーとしては多々羅大橋だけでも走ってもらいたかったのですが、いろんな経験ができて良かったのが大勢で在りました。

明日の天気予報が晴れとなっている事が前向きな反応になっているのかな～。(もしも、明日も雨だったらどうなる事やら？！)

今回は、サイクリング部会自前のマドンナが欠席でありましたが、手塚さんの奥様が参加、紅一点の存在が食事の席を晴れやかにしたのであります。(さすが自慢の奥様、とっても美人) 記念の写真をパチリ、民宿のブログにUPすることを了解しましたのでお楽しみに。(すでにUP済み)

2次会は部屋に戻って、コンビニで買い込んだアルコールとおつまみで延々と話が續くのであります。その内、居眠りする人が、一人、又一人、「そろそろ寝ましょうか」の声でお開きとなりました。

(各部屋では、いびき、寝言などの、大合唱だったとか……！?)

<2日目>

朝食は7時からですが、皆、昨日干してあった荷物をまとめたり、自転車の点検準備でばたばたしておりました。

中には、早朝から多々羅大橋の夜明けの写真を撮りに行った人も、誰かと思ったらフォトクラブ会長の大澤さんでありました。さすが～！

全員そろっての朝食を済ませ、全ての精算完了。

おかみさんにシャッターをお願いして、お決まりの記念写真であります。



多々羅大橋の夜明け



天気は晴れ、今日は走れる喜びいっぱいのメンバー「民宿なごさ」の前で記念写真

さ～！今日は絶好のサイクリング日和であります。昨日走れなかったモヤモヤを一気に取り戻すべく、皆の気持ちは大いに盛り上がっています。

プランリーダーを先頭にスタートです。朝日を浴びながら走り出したサイクリスト集団。カッコいい～！多々羅大橋を左に眺めながら4Km程走るとすぐに大三島橋だ。全長328mここは橋への勾配も緩やかで、途中で記念写真をとカメラを構えるもアングルが難しい、でもパチリ。その後は、ア！と言う間に橋を渡りきって伯方島に上陸。そして道の駅、伯方CSパークで休憩。ここも景色がなかなかいい。それぞれ写真を撮りあったり。



カメラアングル三脚なしで低すぎ、バックに大三島橋が写っていません

この橋です

誰かが自転車の「スピードメータが反応しない？」と騒いでいる。「どうした、どうした」と集まってきて、わいわいがやがや。実は前輪の向きが反対に取り付けてあったらしい。付け替えるのに今度はブレーキの調整どうするこうする。皆でやると何とかなのです。



伯方CSパークで

計画通り順調に進んでいます。次は伯方・大島大橋です。ここから直ぐです、さあ出発！！ 走り出したらすぐ左へ折り返すように登り坂、橋へのアプローチだ。ゆっくり無理をせずマイペースでペダルを踏もう。

登りきった付近で後続のメンバーを待つが、2名の姿が見えない。「携帯電話で話していたから遅れてるんじゃない？」との情報。しかし待つ事5分・・・10分・・・元安さん坂を下って確認に。おかしい？！橋の入り口を過ぎた可能性大と判断、電話をかけて情報交換、時間的に相当な距離を走っているはず。引き返すように連絡。結局2名と再会できたのは45分後の事でありました。(大きな時間ロスであります)

全員そろったところで、何事もなかったように走り出したのであります。1,165mの橋を走り切り、大島へ。ここからが実は最大の難所であります。島の中央を縦断する317号線はだらだら登りが延々と続きます。ギヤを軽くして自分のペースを守り呼吸を乱さない事がポイント。スピード上げて一気に登ろうなんてムリムリ。途中休憩を取ったり、後方を走るメンバーの状況確認しながらの走行であります。でも登りがあれば下りもあるという事。皆気持ちの良い汗をかきながら休憩ポイント、道の駅「よしうみいきいき館」に到着。



来島海峡大橋を見る 水彩画にしました。by Takahashi

ここは又、来島海峡大橋の眺めがなかなかの絶景なのであります。しまなみ海道最後の道の駅です、やり残した事の無いように柑橘ソフトクリームを食べる人、饅頭を頬張る人等。

この時点で今治駅到着が13時頃になりそう、昼食も1時間遅れの見通し、今治から松山への走行にあきらめムードが漂い始めたのであります。

あと一息、最後の橋を渡って今治へGo～！ 直ぐに来島海峡大橋へのアプローチが始まりました。

遠目に見ていたループ上の坂を登るのです。坂登りも慣れてきたのかスムーズに全員クリア。

全長4,105mに及ぶ世界初の三連吊り橋。日本三大急潮の一つと言われる来島海峡の絶景を楽しみながら太陽を浴び、風を切り、軽やかにペダルを踏むのであります。何人かの外国の方ともすれ違ったり、レンタサイクルで走る人もいたり。「こんにちは！」の掛け声を掛け合うのです。様々なトラブルの事も忘れて、サイクリストとして今を満喫しているのです。(来て良かった！)



ここで記念の写真を撮と、誰もが思ったのであります。ちょうど休憩所があり説明看板のあるところでパチリ。

三連の最後、第三大橋を残すのみです。名残惜しい気持ちを抱きながらスタートしたのであります。渡りきると近くの糸山公園から来島海峡大橋の全貌が見れるので行きましょと提案するが、少し登りが在りそうなので、反応なし。結局パスをして休憩所で記念写真となりました。



カメラのセットで手間取っていると、休憩所にこれから来島海峡大橋を渡るらしい一人の若くてきれいな女性がいたので。迷わず、シャッタープッシュをお願いしたのです。そしたら積極的にこのアングル、あのアングルと何度もシャッターを押してくれたのです。ありがと～ございます。



シャッタープッシュ、有難うございま～す

彼女の自転車はレンタルらしくサドルの高さが低いらしい。調整を依頼されたのであります。「喜んで！」といったかどうか解りませんが手塚さんのすばやい対応で調整を完了させたのであります。(さすが奥様の依頼を素早くこなす訓練ができているのでしょうか？！)

お互いの旅の安全を祈りながら、さわやかな気分でお別れしたのであります。「お気をつけて！」

あとは、今治駅に向けて走るのみです。「誰か電話No聞いたの？」と声を発すると、「可愛い子だったね！」・・・と、おじ様トークが、いやいやおじ様トークで軽口をたたくのであります。

そろそろお腹も空いてきた頃で、何を食べようかが皆の関心事になってきました。B級グルメ、やっぱりうどんがいい等、勝手なことを言いながら今治駅に到着。

結局うどん食べようとなり、駅近くのお店に入る事に。お客さんは我々だけで貸しきり状態。掻き揚げうどん定食がワンコインなど、お安いメニューでした。

午後のスケジュールを協議、早く松山に行って松山城を見よう、いやいや今治城を是非見たい。この時点で、はまかぜ海道をサイクリングの発想は全く無し。列車で移動が決定的なものになっていたのであります。「伯方・大島大橋での45分のロスタイムが無かったら」と残念があるのであります。今治城を外観だけでも見学してから松山へ輪行することに決定。



今治城に向かって走り出しました。もう直ぐだと、角を曲がると目の前に石垣とお堀が飛び込んできたのであります。見事です。

慶弔9年(1604年)藤堂高虎によって築城された名城、堀には瀬戸内海の海水を引いた日本三大水城の一つだそうだ。城の周りを回りながら写真をパチリ、いいお城だ。



今治駅に戻って、輪行の準備だ。14時43分発の「特急しおかぜ11号」まで30分程ある。皆んな自転車を分解し始めた。悪戦苦闘のようであります。ただ一人折りたたみ式の私は、5分ほどで全て完了し涼しい顔でありました。(申し訳ない気持ちでいっぱいです。)

時間の確認、切符の購入なども済ませていたら、松本さんが前輪のブレーキ部分の固定が解らないSOSです。

田淵さん、四方さん自分のタイプと異なる為か、うまくいきません、わいわいがやがやしている内に「出来た～！」

手塚さんも奥様のホローで大忙しの様でありました。

14時43分発は随分前に発車していました。我々の乗った列車は15時41分発の「特急しおかぜ13号」でした。(今後の輪行計画は、分解時の時間設定は1時間くらい見ておく必要があります)

ようやく列車に乗り込み、あとは松山に着くのを待つだけです。

35分程の列車たびを終え、ロイネットホテル松山へ自走です。右だ！左だと言いながらホテルへ。

マイ自転車を駐輪場に止め、ようやくチェックイン。フロントがまだ不慣れなのか時間がやけにかかった。あとは松本OB・OG会会長が手配段取りして頂いたOBの方とたまたま故郷松山に居られた阿部副会長が合流する事になりました。



道後温泉・坊ちゃん列車の前で

タクシーに分乗して、道後温泉へ、今日の汗をきれいに洗い流し、近くのお店へ移動です。「にぎたつ庵」と言うお店です。

酒蔵だったとかで美味しいお酒も、料理も上品に民宿とは違った風情がありました。

良いお店を案内いただき感謝であります。

総勢12名となり、席が2テーブルになり、会話が分断されてしまった為、話が見えません。本来なら、今日の出来事を皆で確認おさらいをして、楽しい事、失敗した事、感動した事、等今後に生かせる会話で盛り上がる筈だったのですが、ちょっと残念な事も……。プランリーダーとしては、報告書が書きにくいことになってしまいました。(残念！)今回のサイクリングは、色んなアクシデントに見舞われ、計画変更を余儀なくされ、プランリーダーは受難の旅でありました。しかし今後に生かせる経験が沢山できました。次回のプランリーダーに引き継ぎたいと思います。宴も終わりに近ずき、最後の締めをプランリーダーにと森部会長から振られ、関東一本締めでお開きとなったのであります。

これでスケジュールは全て終了であります。ホテルへは路面電車に乗って帰る事になりました。後は就寝、お休みなさ～い。

<3日目>

おはようございます。8時をもってサイクリング部会活動の終了となります。森部会長の宣言で無事終了です。事故も、怪我も無く、終わった事に感謝感謝であります。

今日からのスケジュールは、それぞれ別行動になります。松山から高松方面にサイクリングを続ける人、松山の観光を続ける人、広島に渡りサイクリングを続ける人、まっすぐ関東方面へ帰る人等、皆さんご安全に！。



記：プランリーダー 高橋 充